

目的

SDGsローカライズを広く区民・企業・団体等への普及・浸透させ、それらの取組を通じて、地域が活性化することをめざす。

【ポータルサイト】

登録・取組紹介・マッチング・情報管理等を行う

サイト閲覧者数の増加を図るため、WEBマーケティングの実施、「いたばしさんぽ」を活用したイベントの出展等による周知、特集記事の制作等を行う。

SDGsモデル事業

企業・団体等との交流を促す交流会等を開催することで、ネットワークを拡大し、企業・団体同士の連携が構築されることにより、新たなSDGsに関する取り組みの実施を図る。また、これらの取組をポータルサイト上で情報発信を行う。

モデル事業例

【絵本のまち板橋】

すでに様々な企業・団体との連携があり、複数のSDGsの目標に関係し、区の重点戦略の柱の一つでもあることからモデル事業として指定。板橋区の「絵本・絵本文化」の新しい展開の創出をめざし、区内外への更なる浸透を図る。

モデル事業

SDGs

公民連携

デスク

パートナー制度

SDGs

板橋区版SDGsプラットフォーム

SDGsパートナー制度

板橋区内でローカライズに取り組む企業・団体等を区のパートナーとして認定し、その取組の情報発信や交流を行えるようにする制度。企業・団体等へローカライズを普及・浸透させつつ、ポータルサイトの情報発信を通し、閲覧者に対しても広くローカライズの普及・浸透を図る。

パートナー企業・団体等へのインセンティブ

- ・パートナー自身が作成する取組記事による情報発信の広報効果により、パートナーのブランドイメージ向上
- ・ポータルサイトに設置するパートナー同士が情報交換できる掲示板等の機能による交流機会の創出
- ・パートナーとの交流を促す交流会等の開催
- ・表彰制度の実施（検討中）

公民連携デスク

これまで手の届かなかった、地域課題や行政課題の解決、新たな価値の創造のため、それに向けたアイデアを提案できるよう設置する「対話型窓口」。ポータルサイト上でこの運営を行うとともに、優れた実績の情報発信を行う。